

他教科への活用表

門真市立四宮小学校

★1学期でつけた「伝え合う力」を「聞き方・話し方のステップ」とつなげて、2学期の他教科でも活用し、定着させる。他教科で活用する際には、教師も児童もつけた力を意識して、活用する。

国語の伝え合う力(「話す・聞く」でつける力)

1年 1学期 聞く「ききたいな、ともだちのはなし」

◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表 A(1)工)

聞き方のステップ

レベル7 なにについてはなしているかを かんがえてきく。
レベル8 あいてががなにをいいたいかを かんがえてきく。
感想を持つ。

↓

活用できる 教科・単元

算数	・自分の解決方法や考えを発表するとき(全単元)
生活	・観察したことで気づいたことや感じたことを伝えるとき (主に「きれいにさいたね」朝顔の観察)
道徳	・自分の感じたことを発表するとき

↓

2学期 聞く「ともだちのこと、知らせよう」

◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表 A(1)工)

聞き方のステップ

レベル4 しゅうちゅうして、さいごまできく。
レベル7 なにについてはなしているかを かんがえてきく。

↓

活用できる 教科・単元(3学期)

算数	・自分の解決方法や考えを発表するとき(全単元)
生活・図工	・「秋のことをつたえよう」・学校で見つけた秋の自然物をつかって作品をつくり、全体で紹介した。
道徳	・自分の感じたことを発表するとき

↓

3学期 話し合う「これは、なんでしょう」

◎互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
(思・判・表A(1)才)

2年 1学期 聞く「ともだちをさがそう」「あったらいいな、こんなもの」

◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表 A(1)エ)

聞き方のステップ

レベル7 なにについてはなしているかを かんがえてきく。

レベル8 あいてががなにをいいたいかを かんがえてきく。

感想を持つ。



活用できる 教科・単元

生活	「もっと知りたいまちたんけん」で仕事をしている人にインタビューをする
生活	「おもちゃランド」おもちゃを作り、1年生と交流する。 一緒に遠足へ一緒に行くために関わる足がかりにする。
算数	「かけ算」自分の考えをクラスやグループで共有する。



2学期 話し合う「そうだんにのってください」

◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表 A(1)オ)

聞き方のステップ

レベル5 はんのうする。

レベル7 なにについてはなしているのかを かんがえてきく。

話し方のステップ

レベル6 ともだちの かんがえにつなげてはなす。



活用できる 教科・単元(3学期)

算数	自分の考えを発表したり、話し合いをする。
生活	「もっと知りたいまちたんけん」で仕事をしている人にインタビューする(2学期にできなかったため)
体育	グループでどうやったらいいかを相談する。



3学期 話す「楽しかったよ、二年生」

◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。

(思・判・表A(1)ウ)

3年 1学期 聞く

「もっと知りたい、友だちのこと」

◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表 A(1)エ)

聞き方のステップ

レベル8 聞いたことにしつ問ができる。

レベル9 聞いたことに対して 自分の考えを持つ。

↓

活用できる 教科・単元(2学期)

社会科	スーパーマーケットの工夫をまとめる際、文章構成として活用した。(1学期)
理科	自分の好きな虫や花の種類を説明する際に、理由を加えて説明できる。
体育	運動会で自分が感動した、楽しかった場面を説明できる。
算数	かけ算・わり算の問題解決学習、円と球についての話し合い活動

↓

2学期 話し合う「はんで意見をまとめよう」

◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)オ)

聞き方のステップ

レベル8 聞いたことにしつ問ができる。

レベル9 聞いたことに対して 自分の考えを持つ。

話し方のステップ

レベル6 友だちの考えにつなげて話す。

レベル7 考えを言ってから 理由を話す。

↓

活用できる 教科・単元(3学期)

社会	市内めぐり等を通して、多くの情報をまとめる活動に用いる。
理科	実験結果を通しての考察の際、自分の意見を客観的に捉え尊重する。
音楽	合奏を通して、パートや役割ごとに意見を出せる。

↓

3学期 話す「わたしたちの学校じまん」

◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話 することができる。(知(1)イ)

4年 1学期 聞く

「聞き取りメモのくふう」

◎必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと
の中心を捉えることができる。(思・判・表 A(1) 工)

聞き方のステップ

レベル7 聞いたことをメモできる。

レベル8 聞いたことにしつ問ができる。



活用できる 教科・単元(2学期)

社会	ごみの処理と利用
社会	きょう土の伝統・文化と先人たち
算数	わり算・面積の求め方の問題解決学習、話し合い活動



2学期 話し合う「クラスみんなで決めるには」

◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に
着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)オ)

聞き方のステップ

レベル8 聞いたことにしつ問ができる。

レベル9聞いたことに対して 自分の考えを持つ。

話し方のステップ

レベル6友だちの考えにつなげて話す。

レベル7考えを言ってから 理由を話す。



活用できる 教科・単元(3学期)

社会	「特色ある地域と人々のくらし」について府内の地域について意見交流をする
算数	直方体や立方体について、見取図と展開図について話し合う。



3学期 話す「調べて話そう、生活調査隊」

◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話
すことができる。(知(1)イ)

5年 1学期 聞く

「きいて、きいて、きいてみよう」

◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)エ)

聞き方のステップ

レベル8 聞いたことに対して、自分の考えを持つ。

レベル9 自分の考えと相手の考えを比べて聞く。

↓

活用できる 教科・単元(2学期)

道徳	「約束」の単元でよりよい人間関係をつくるために必要なことを話し合う。
総合	運動会や林間をよりよいものにするために、どうしたらよいかを話し合う。
算数	ソフトボール投げのライン引きについて、図形の性質と関連付けて話し合う。

↓

2学期 話し合う「よりよい学校生活のために」

◎互いの立場や意図を明確にしながらか 計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表 A(1)オ)

聞き方のステップ

レベル7 聞いたことをメモしたり、質問したりできる。

レベル8 聞いたことに対して 自分の考えを持つ。

レベル9 自分の考えと相手の考えを 比べて聞く。

話し方のステップ

レベル6 友だちの考えにつなげて話す。

レベル9 事実と考えを区別して話す。

↓

活用できる 教科・単元(3学期)

総合	「よりよい学校生活のために」異学年交流について話し合う。
総合	平和学習で学んだことを新聞にまとめるために話し合う。
総合	戦争・平和について相手を意識して伝える。

↓

3学期 話す「提案しよう、言葉とわたしたち」

◎資料を活用するなどをして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)

6年 1学期 聞く

「聞いて、考えを深めよう」

◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)工)

聞き方のステップ

レベル8 聞いたことに対して、自分の考えを持つ。

レベル9 自分の考えと相手の考えを比べて聞く。

↓

活用できる 教科・単元(2学期)

社会	平和学習
算数	問題解決学習
理科	実験の結果予想・分析

↓

2学期 話し合う「みんなで楽しく過ごすために」

◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたり まとめたりすることができる。(思・判・表 A(1)才)

聞き方のステップ

レベル7 聞いたことをメモしたり、質問したりできる。

レベル8 聞いたことに対して 自分の考えを持つ。

レベル9 自分の考えと相手の考えを 比べて聞く。

話し方のステップ

レベル6 友だちの考えにつなげて話す。

レベル9 事実と考えを区別して話す。

↓

活用できる 教科・単元(3学期)

算数	問題解決学習
理科	実験の結果予想・分析
社会	世界の未来と日本の役割

↓

3学期 話す「今、私は、ぼくは」

◎資料を活用するなどをして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)